

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	固形腫瘍術後標本における Cancer stem cell marker 発現の再発予測因子としての有用性の検討
	研究目的	固形癌（胃癌，肺癌，膵癌，乳癌）の術後 FFPE 標本を用い，Cancer stem cell マーカーである LGR5, FEZ7, TROY, MIST1, CD44v, CD133, MSI1 タンパクの免疫染色を行い，再発との関係を検討することで，これらのマーカーの再発予測因子としての有用性を検討する。
	研究対象者	当センターにて 2005 年～2014 年に手術をおこなった、胃癌 302 例，肺癌 425 例，膵癌 225 例，乳癌 323 例
	研究期間	西 暦 2 0 2 0 年 1 月 8 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 胃食道 部長 大島 貴
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科胃食道，呼吸器外科，消化器外科肝胆膵，乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし